

「Kids キャラバン」で年配者と子どもをつなぐ



年配者と一緒に、子ども向けプログラムの検討



児童館のスタッフと年配者と一緒に事前学習と打ち合わせ

「Kids キャラバン」

博物館を出て様々なことを行う活動（アウトリーチ活動）を、ひとはくでは「キャラバン」と呼んでいます。「Kids キャラバン」は、その子ども向けの活動です。

年配者と子どもをつなぐ

高齢者大学の卒業生や現役生の人たち（年配者）と一緒に地元の児童館へ行って、子ども向けに自然・環境に関する体験プログラムを実施しています。年配者と共に児童館近くの公園や神社、樹林など身近な自然・環境を事前



に調べたり、自然素材を採集したりして準備（事前学習）をします。高齢者大学や児童館とも連携しながら、どのようにしたら、子どもたちに分かりやすく自然・環境・文化を伝えられるのか、いろんな方と一緒に実践しながらプログラムを試行・改良し、年配者と地元の子どものつなぐしくみを検討しています。



児童館の子どもたちに自然・環境に関する体験プログラムを実施



プロジェクト名 キッズひとはく推進プロジェクト

代表者：小舘 誓治

分担者：古谷 裕， 八木 剛， 高瀬優子， 塚本健司

協力者：宝塚市立老人福祉センター（フレミラ宝塚）、宝塚市内の児童館、清水文美（ひとはく連携活動グループ run♪run♪plaza）

財源：国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）事業支援金